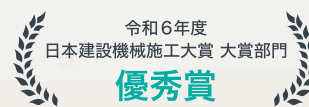




さあ遠隔現場へ、
つぎつぎと。

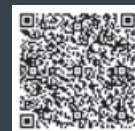


遠隔施工のある日常を、
K-DIVE®で。



KOBELCO コベルコ建機

東京本社/〒141-8626 東京都品川区北品川5-5-15 ☎03-5789-2111



コベルコ建設
機械ニュース

Aug.2025 Vol.269 夏季号

〒141-8626 東京都品川区北品川5-5-15 コベルコ建設機械ニュース編集部 ☎03-5789-2112

www.kobelco-kenki.co.jp

コベルコ建機株式会社

KOBELCO

夏季号

Aug.2025 Vol.269

コベルコ建設機械ニュース

特集

機能もサポートもアップデート
進化するK-D2 PLANNER®



コベルコ建機
公式SNSは
こちらから



X Instagram

機能もサポートもアップデート 進化する K-D2 PLANNER®



Building Information Modeling (以下、BIM)※推進という
建設業界の一大トレンドのなかで、コベルコ建機が開発し
2023年4月にリリースしたのが、クレーン施工計画最適化のための
シミュレーションソフト「K-D2 PLANNER®」だ。
リリースから2年半を経て、進化した現在の姿を探る。

織田孝一＝取材・文 (P2-5/P8-9) 大霜佳一＝取材・文 (P6-7) 三浦泰章＝撮影
text by Koichi Oda, Yoshikazu Oshimo / photographs by Yasuaki Miura

※効率化やコスト削減、品質向上を目指し、建築物の設計、施工、維持
管理に関する情報を3Dモデルに統合し一元的に管理する手法

クレーン
施工計画を
最適化！

座談会 with 大塚商会

頼れる協業パートナーを得て販売を強化 K-D2 PLANNER®の今後の可能性も開拓

K-D2 PLANNER®の販売・
普及促進面においてコベルコ建機が
得た強力なパートナーが
株式会社大塚商会だ。
両社の連携の経緯、製品への想い、
さらに今後の展望や期待について
語り合った。

ソフトウェアを売る ノウハウを学ぶ

まずK-D2 PLANNER®の機能面の
現在地を整理する。2023年4月のリ
リース以降、3つの機能拡充を行った。
時期の早い順に、①リンクされた複数の
3Dモデルの情報を使用可能とした
機能（2023年10月）、②オフライン環
境で一時的に利用できる機能（2024年
4月）、③クレーンメーカー4社のモデル
の標準搭載（2024年5月）の3つだ。
「①と②は、リリース後にユーザーの要
望を反映させたもの、また③はリリ
ース時からの懸案でした」と高松伸広
（コベルコ建機 新事業推進部 K-D2事業推
進グループ）は振り返り、
次のような説明を続ける。「建設にお
いてでは建物、設備、鉄骨など複数の
3Dモデルを利用することが多いため、
①の機能が役立ちます。②は事務所
から持ち出すとライセンス認証が切
断されてしまうなど、通信環境が整
っていないと使えないという課題に
対応したものです。③は、建設会社
は工事の検討段階では、クレー

ンメーカーや機種を決めていないことが多くという実態に即して用意しました。当初のコベルコ建機、株式会社タダノに加え、住友重機械建機クレーン株式会社、株式会社加藤製作所のクレーンモデルを追加しました」。搭載機種は今後、海外メーカーも検討していく予定だという。

これらの機能の拡充を果たした2023年春頃から、コベルコ建機はK-D2 PLANNER®の販売や普及促進面で、大塚商会と協力して取り組んでいる。「当社は、建機販売はしてきましたが、ソフトウェア販売は未経験。販売ノウハウ、販売チャネル、販促方法、価格体系など、すべてが未知の領域でした。そこでベースソフトAutodesk®Revit®



大塚商会 マーケティング本部
特定CADソフト
プロモーション課 課長
佐藤 豊さん
「施工での3Dシミュレーションを普及させるには、ユーザー企業の上層部の意識を変える努力が必要です」

真典（新事業推進部 K-D2事業推進グループ グループ長）。

高松もこう付け加える。「K-D2 PLANNER®はリリース後、ユーザーから非常に高い評価を得ました。ですから、配信プラットフォームに置いておけば売れるだろうと期待していましたが、実際にはなかなか、受注につながりませんでした。ビジネスを成立させるにはソフト販売の方法論を知らなくて

は、と改めて気づいたのです」
K-D2 PLANNER®は、建築設計用の3DCADであるRevit®のアドイン型ソフトだ。大塚商会はRevit®やその関連ソフト販売の実績を豊富にもち、この点でもパートナーとして最適だった。

優れたアドインツールとして評価

大塚商会はK-D2 PLANNER®にどのような印象をもったのだろう。「“売らせてもらえるならぜひ売りたい”と



コベルコ建機 新事業推進部
K-D2事業推進グループ
グループ長
岡本真典
「今後は製品の拡充に加え、ほかのアドインソフトとの連携も大きなテーマになると思います」

■標準搭載モデル



※ 2024年2月2日時点で、株式会社タダノ、株式会社加藤製作所、住友重機械建機クレーン株式会社と当社がBIMデータとして公開しているモデルを標準搭載しています。今後公開されるBIMデータは随時対応していきます。

感じる印象的な製品。つり上げ時のクレーンのたわみなど、見かけ上は気づかないような要素まで精密にシミュレーションできるなど、建機メーカーの強みが反映されていると思いました」と佐藤豊さん（大塚商会 マーケティング本部 特定CADソフトプロモーション課 課長）。

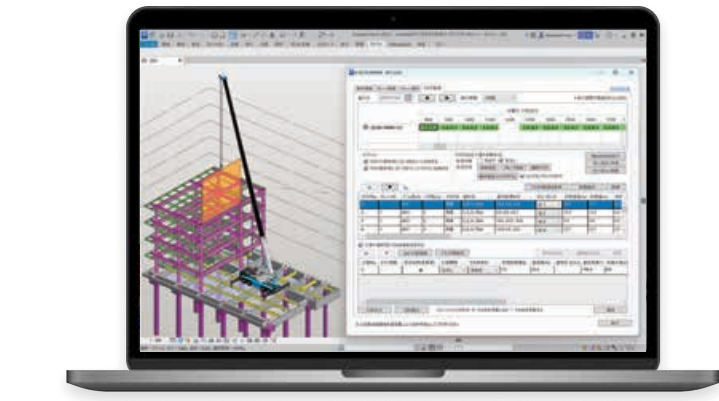
アプリケーションエンジニアの藤垣茉友さん（大塚商会 PLMソリューショングループ BIM・CIMソリューション課）は、「ユーザインターフェースの分かりやすさも魅力。クレーンの専門知識が少ない人でも、マニュアルにあまり依存せず操作しやすいツールだと思います」と評価する。

こうして両社の想いは一致し、コベルコ建機と大塚商会の協業による販売が動き出した。

協業することでコベルコ建機が学んだことは多い。「Revit®と周辺ソフトを熟知している方々に支えられて、システム全体を踏まえた提案を考えられるようになりました。また、建設機械



大塚商会 PLMソリューショングループ BIM・CIMソリューション課
藤垣茉友さん
「Revit®やK-D2 PLANNER®のメリットを最大限に引き出せるように、お客様をトータルにサポートしたいですね」



とは異なるソフトウェアの販促手法なども学ばせてもらいました」（岡本）

大塚商会の佐藤さんも

こう評価する。

「Revit®は、設計者の利用が多いソフトです。しかし施工は設計の後工程であり、そのためのアドインツールは十分にそろっていません。K-D2 PLANNER®は施工にジャストフィットするツールで、Revit®全体としての価値にも貢献してくれると思いました」

設計と施工を同じファイル形式で扱い、施工計画を強かに支援できる。建設業界では、設計に比べて施工の3D化はまだこれからの部分が多く、今後のBIM推進にとっても大きな意味がある。

2社が協力してユーザへとアプローチ

2024年に協業が正式に決定、両社のメンバーで構成する連絡会を定期的に関き、情報交換することから始めた。「マーケティングと技術で、それぞれのチームをつくり、意見を交わしては展示会などへの出展、営業活動を行っています」（岡本）。マーケティングとしては営業チームと連携してユーザの理解を深めること、技術としてはRevit®も含めたソリューション全体としての利用促進にも力を入れた。

「第4回 建設DX展（2024年12月）では共同でブースを設けて出展しました。大塚商会の方が同じ場に来てくださることで安心感もありましたし、Revit®との相乗効果も大きかったと思いま

す」と青木美緒（コベルコ建機 新事業推進部 K-D2事業推進グループ）は語る。

また現在、導入のためのスクールも開始された。提供するのユーザ企業ごとに実施する半日のプランだ。テキストはコベルコ建機が制作、大塚商会がより客観的な視点で確認、監修し、講師も大塚商会のエンジニアが務める。

「クレーンに関する知識が

少ないお客様が利用するケースも想定されるので、コベルコ建機の知見を採り入れながら分かりやすい解説を心がけました。また、機能を解説するだけでなく、実際に操作して使い方を習得する部分を増やすようにしました」（大塚商会・藤垣さん）。

広がるユーザ、高まる作業効率

協業のなかで見えてきたことも少なくない。

「ユーザに想定していたのはゼネコンの施工計画部門です。しかし実際に共同でお客様対応すると、クレーンの需要はゼネコン以外にもいろいろあって、例えば設備機器を扱うサブコン、プラント企業などによる活用が予想外に多かったのです」（大塚商会・佐藤さん）。「ゼネコン以外の企業の問い合わせを受け、説明に伺うと、要望にぴったり合致して喜ばれ、ユーザ層が広がることもしばしばありました」と高松も同様の体験を語る。

ユーザが期待する効果では、計画担当者の工数削減（＝作業時間の削減）が大きい。「干渉の確認などが事前にでき、つれると予測していたが、いざ現場でつろうとしたらできないといった見込み違いが起こりません」（高松）。こうした初期段階で作業工程を確認することがコスト削減には最も貢献する。

さらに設計との関係で考えると、再設計が楽であるというメリットに大塚商会の佐藤さんは注目する。「このツールの従来と最も違う点は、設計が決まっても、施工から考えてこれで良いのかと検討し、設計をやり直せることにあります」

どうしても建築は意匠（デザイン）が優位になる傾向がある。しかし、こうした



コベルコ建機 新事業推進部 K-D2 事業推進グループ
青木美緒
「大塚商会様もつノウハウを活かして、製品の価値を最大限に引き出したいですね」

シミュレーションソフトによって、工数やコストの面から設計を見直すことができるようになった。これは、安全や作業環境の面から見ても明らかに好影響を及ぼしている。

さらに優れたツールへの進化目指す

2社は協業が始まるとすぐにサポート体制を整備した。現状の問い合わせ窓口はコベルコ建機、大塚商会のどちらにもあ

り、コベルコ建機はソフトに関する部分を回答し、大塚商会はより広く全体的な分野をカバーする。

「大塚商会では1人のエンジニアが企業を担当する形です。またK-D2 PLANNER®の 前提はRevit®なので、Revit®を介さないと理解できない部分は私たちがお答えしています。Revit®によるモデリングも私たちが説明します」（大塚商会・藤垣さん）。また大塚商会ではテレホンサポートのほか、パソコン画面を共有しリモートでサポートするといった分かりやすいサービスも提供している。

K-D2 PLANNER®の今後について

も模索が始まっている。

「Revit®にはさまざまなアドインツールがあり、それらと機能連携できる可能性もあります。いずれは他社のアドインツールとの連携も検討したいと考えています」（岡本）。

大塚商会の佐藤さんはユーザが使いこなすことによる施工プロセスの変化にも期待を寄せる。「例えば敷地が限られ、資材をいったんある場所に降ろし、そこからつり上げて目的の場所へ降ろすといった複雑な作業のシミュレーションもできるため、極めて無駄のない計画を立てられると思います」

コベルコ建機では今後、年2回のアップデートを目標としている。「当初はゼネコンの協力を得て、その要望を聞きながら開発してきました。その後、想定していなかった企業にもお客様が広がりました。そうした方々の声を反映させて、さらに優れたものにしていきたいですね」（高松）

施工計画の効率化だけではない。建設業界全体にとって、BIM推進は喫緊の課題だが、K-D2 PLANNER®はその推進のきっかけとなり得る。コベルコ建機、大塚商会は協業を強化し、K-D2 PLANNER®の普及を加速させることで、建設業界全体の発展に寄与していく。



大塚商会と共同出展した2024年12月「第4回 建設DX展」



コベルコ建機 新事業推進部 K-D2事業推進グループ
高松伸広
「お客様に製品価値をきちんと感じていただき、運用するというミッションを果たしていきます」



CASE

1

山九株式会社

ストレスのない簡単操作で 現場に最適なクレーンを絞り込む。 手戻り防止に効果絶大

物流事業と機工事業の2つを
国内外で展開し、世界の産業を
支え続ける山九株式会社。

K-D2 PLANNER®をいち早く
導入いただいたのは、機工事業を担う
プラント工事です。お客様のプラント
工事の施工計画を立て、
施工を請け負う。
同部でK-D2 PLANNER®を活用する
メンバーにお話を伺った。



山九株式会社 E&M第1事業部
福岡県北九州市戸畑区中原先の浜
46-51
<https://www.sankyu.co.jp/>



機工事業本部 E&M第1事業部
プラント工事業部
工事計画グループ
尾畑夢歩さん
「デモンストレーションをして
いただいたときのコベルコ建機
さんの丁寧な対応も、
導入の決め手になりました」



機工事業本部 E&M第1事業部
プラント工事業部
工事計画グループ
齊藤未来さん
「3Dデータに、数値的な根拠
があるところが安心感に
つながり、信頼性を高めて
くれます」

重機計画の効率アップ 生産性向上に寄与

プラント工事業部では、2年ほど前か
らBIMを導入し、プラント工事の効
率化を推進している。その延長線上で
重機計画が3Dで可能なツールを検討
し、お客様のデータとも親和性が高い
Revit®アドイン型シミュレーション
ソフトのK-D2 PLANNER®を導入し
たという。

「従来の重機計画は、分厚いクレーン
性能表を確認したり、この姿勢で問
題ないかを検証したり、かなり手間
のかかる業務でした」と語るのは、工
事計画グループの尾畑夢歩さん。BIM
の知見を有する尾畑さんは、工事計
画全般のBIM化を目指す上でK-D2
PLANNER®は欠かせないツールだと
言う。

同グループの齊藤未来さんは、長き
に渡り2Dの従来方法で重機計画書を
作成してきたエキスパート。齊藤さん
は2次元での作業の
実際を次のように語る。

「このクレーンで大丈夫だと
思って一度2Dで描いてみて
も、ブームが届かないとか、
この角度では合わないとか
……。では別の重機で検証と
なると、まずその重機のデー
タを集めるところから始める
ことになります。よって大規
模な現場だと、何カ月もか
かってまだまだ検討の段階、な
どということもありました」

こうしたCADの図面を
ベースとした2Dによる重機

計画では、さまざまな角度から絵を描
き、何度も計算して最適な重機選定を
行う。当然安全性が第一だから、膨大
な時間をかけて行ってきた。それでも
実際の現場で敷地内に入れなかったり、
カウンターウェイトが建造物に当
たったりしてしまうことが分かり、再
検討を余儀なくされること、つまり手
戻りが少なくなかったようだ。

「K-D2 PLANNER®を使用すれば3D
で検討できるので、手戻り防止になり
ます。また手計算の時間が削減でき、
どんな種類のどんな性能をもつクレー
ンが妥当なのかをシステムとして候補
を挙げてくれるので、重機選定が大幅
に楽になりました」と言うのは、西日
本事業所のノア・ハズリさん。同事業
所の柳武昊さんも「機種選定の作業効
率はかなり上がりますし、選定した機
種の位置を決めるだけで、旋回する作
業範囲が3Dで分かりやすく可視化さ
れる点も便利だと思います」と言う。

さらに、3Dデータに加え各工程の
ステップを登録して時間軸を入れるこ
とが必要な局面でも、Navisworks®
と連動して4D活用が可能などところも
重宝しているようだ。

また細かな機能としては、フック
の重量が反映されることもポイント
だという。性能表ではフック込みの
重さではないため、これまではつり
具の重量も計算していたが、K-D2
PLANNER®なら一瞬で終わる。さら
にコベルコ建機のクレーンであれば、
ブームのたわみまで反映されるところ
も評価が高い。

「私は熟練した先輩とチームを組んで
教わりながら、それこそブームなどの

実感する導入効果

- 重機計画の作業効率アップ
- 手戻り防止
- 重機計画作成スキル習得の時間短縮
- BIM推進の加速

つり具の重さや耐荷重量を導き出すノ
ウハウを身につけました。計算に抵抗
がなくなるまでに2～3年、責任をもっ
て計画書を提出できるまでには5～6
年かかりました」（齊藤さん）
「そういう意味では、経験のない若い
技術者でもすぐに重機計画書の作成が
可能になります」と言うのはグループ
マネージャーの泉貴之さん。また「ク
レーンの選定時間が劇的に削減される
ので省人化にもつながりますし、うま
く活用すればリスクリグだとか配置
転換といった人事面での効果も期待で
きます」と続ける。

尾畑さんも「重機計画をK-D2
PLANNER®で始めた私は、時間をか
けて学んできた方々に比べると苦労な
く学習できてありがたいと感じます。
従来は現場監督などが時間をかけて計
画していたことまで私たちが代わりに
請け負えるようになるため、社員の働
きやすさにもつながっていくと思いま
す」と副次的なメリットも強調する。

K-D2 PLANNER®の活用で 目指すべき姿に近づく

必要な情報をインプットすれば、簡
単な操作で3Dの回答が得られる。そ
のあまりの操作性の高さに、当初は「本
当に信頼できるのか」という素朴な疑

問も生んだようだ。

しかし、K-D2 PLANNER®
は3Dで重機の姿勢が示される
だけではなく、例えば耐荷重
量に対しても根拠となる数字
が提示され判定される。でき
ないことはシステムのNG
表示される。そこに信頼性が
あるのだという。

「従来の2Dで計画したものをあえて
BIMで再度検証し、K-D2 PLANNER®
からも同じ結果が出ることを確認し
安心しました。そうした3Dの検証で、
現場の敷地への配置が難しいことが判
明して、再検討を行った事例もありま
す」と齊藤さん。

こうした再検討の場面でも、K-D2
PLANNER®を利用すれば時間はかか
らない。
「プラント工事業部が目指す姿は、着工
前に現場で起こり得る問題を洗い出
し、後工程での修正や手戻りを減らし
コストや時間を削減するという、計画
初期段階での工程検証の徹底。K-D2
PLANNER®の導入で作業
効率が上がり、目指す姿に
近づけていると思います」と尾畑さん。

数々のメリットをもたら
すK-D2 PLANNER®だが、



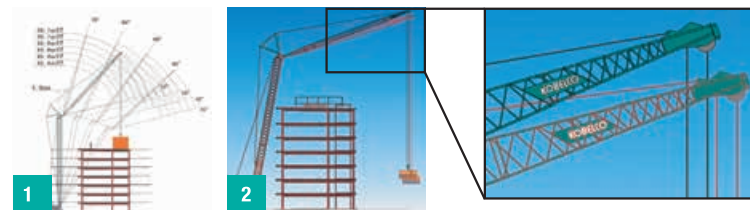
機工事業本部 E&M第1事業部
プラント工事業部 西日本事業所
NOOR HAZLI
(ノア・ハズリ)さん
「クレーンの大きさやつり荷
に対する性能が、すぐ検討
できるのが一番のメリット
です」



機工事業本部 E&M第1事業部
プラント工事業部 西日本事業所
柳武昊さん
「使用時の疑問に対して、コ
ベルコ建機さんに逐一回答
していただき習得できまし
た！」

解体機など使える機種が増えるにより
使い勝手が良くなる、現場の敷地まで
のクレーンの軌跡も表現されるとあり
がたい、といった要望もいただいた。

「K-D2 PLANNER®を、まずは部内
のスタンダードにして全社の機工部門
に浸透させていくことを目指していま
す。まだご存知ないお客様が多いので、
3Dでの施工計画への認識を変えてい
きたい。そうすればプラント業界にも
K-D2 PLANNER®が広がっていくの
ではないでしょうか。コベルコ建機さ
んと一緒に進めていけたらうれしいで
すね」と泉さんは今後の抱負を語って
くれた。



1. クレーンを真横から見た角度で断面図の作成や作動範囲図の表示が可能 2. コベル
コ建機のクレーンであれば、つり荷量に応じた「たわみ」が表示可能



左からグループマネージャーの泉貴之さん、齊藤さん、
尾畑さん、ハズリさん、柳武さん

CASE

2

高砂熱学工業
株式会社

K-D2 PLANNER®の可能性を探り、 より幅広く、より継続的に 将来を見据えたBIM推進を目指す

空調設備の設計・施工を中心事業とする高砂熱学工業株式会社は、近年では環境分野でもその存在感を示す。同社のDX推進の中核を成すのが、BIMによる業務プロセスの確立。そんな状況のなかで、K-D2 PLANNER®を導入いただいた。ユーザとして活用しながらも、コベルコ建機とともにさらなる可能性を追求し続けている。



高砂熱学工業株式会社
東京都新宿区新宿6-27-30
https://www.tte-net.com/

精度の高い検討を 短時間で実現

「K-D2 PLANNER®と出会ったのは、建築分野における最新のソリューションを紹介するイベント『Archi Future2023』でした」と語るのは、技術本部 システム技術統括部 担当部長の齋藤英範さん。

当時は自社開発も含めてBIMを模索し、Autodesk®のRevit®などBIMに特化した3DCADソフトは導

入していたが、施工面で効率的に運用する方法を追求していた時期だったという。「難しい課題でしたが、K-D2 PLANNER®を見て、この製品なら大きく前進できると感じました。他社製品に類似したものはなく、一択と言って良かったですね」（齋藤さん）

同社の空調設備工事には、新築工事と、既存の建物の空調設備を入れ替える改修工事の2つがあり、割合はほぼ半々。空

調設備は重量が大きくクレーンの利用は不可欠だが、構造物がある状態での工事となるため設置の時期や場所など満たすべき条件が多く、特に改修工事では制約が多いという。それだけにクレーンの検討を効率化させることへの期待は大きかった。

「従来は、建物の2D図面に空調設備を追加し、条件に合うクレーンの性

能や断面図などをインターネットなどで個別に収集していました。しかしK-D2 PLANNER®があれば、それらの情報はすでに搭載されているため準備作業は不要。また3Dなので、新たに図面を起こさなくてもさまざまな角度からワンクリックで検証できます。つま



クレーン位置と資材情報を施工ステップごとに登録することで、その現場で使用できるクレーンが確認可能



技術本部
システム技術統括部 担当部長
齋藤英範さん
「要件の多様な組み合わせをすぐ確認できることは、K-D2 PLANNER®の大きな魅力です」

り、高精度の検討が短時間でできることになりました」と齋藤さんは言う。

クレーンの大きさ、能力、場所、揚重する空調設備など、要件の組み合わせを迅速にいくつも出せることは、施工計画の手戻りをなくし、工期短縮やコスト削減につながっている。

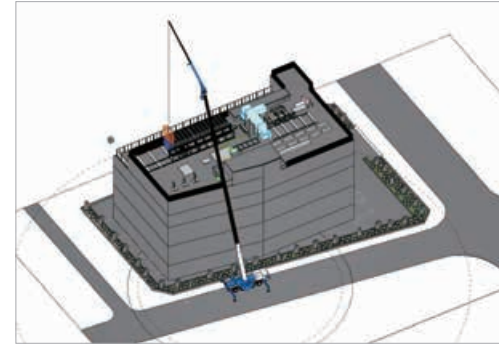
技術本部 システム技術統括部 BIM推進室 主任の田上俊成さんは、その具体的な経験を次のように語る。

「ある改修工事において、大型クレーンによる揚重作業が検討されました。そうなるクレーンは敷地外の道路に置かざるを得ず、夜間の限られた時間で作業を行う必要があり、施工コストも工期も拡大するという問題がありました。しかしK-D2 PLANNER®を使うことで、建築断面図が存在していない部分を3Dモデルにより調べたり、安全率に問題のないクレーン作業の範囲を確認したり、精度の高いシミュレーションが簡単にできたため、効率良く作業計画を作成できました」

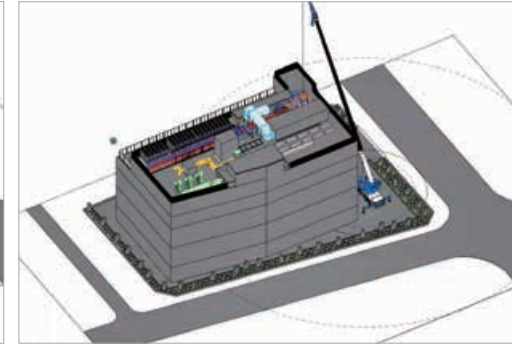
複数の案件で 性能や利用法を検証

現在、高砂熱学工業では、K-D2 PLANNER®の可能性をコベルコ建機とともに検討している。

「このような製品は、一時的な話題で終わらせてはいけません。特例ではなく、標準的に使えるようにし、業務改



施工計画のステップごとに検討内容をデータとして登録することで、いつでも検討結果を再現することができる（高砂熱学工業の実案件モデルでの検討シーン）



技術本部
システム技術統括部
BIM推進室 主任
田上俊成さん
「K-D2 PLANNER®の利用を広げるために、工事での利用状況を調べ現場で役立つ施策を考えています」

革に役立ててこそ意味があります。そこで、新築・改修も含め、顧客や条件が異なるさまざまな工事案件に利用し、コベルコ建機と意見交換しながら可能性を検証しています」と、齋藤さん。そこから見えてきた、改善点や求める機能をコベルコ建機と共有しているのだ。

K-D2 PLANNER®のより効果的な使い方や手順を作成し、コベルコ建機がそれを他企業に紹介し、役立てる。これは利用者を広げるという大きな視点からの意義ある取り組みだ。

さらに同社は、全国数百の工事案件から、K-D2 PLANNER®の利用頻度、場面、作業時間などの状況を調べ、コベルコ建機と共有している。こうした取り組みは「個別特例的に使うのではなく、将来に向けて広い視野で利用すべき」（齋藤さん）という認識によるものだ。

さらにK-D2 PLANNER®導入をきっかけに、計画業務の手法、順序、時期などの業務プロセスが今後変わる可能性も高く、そこも検討課題となっているという。

データを蓄積、 将来の工事に貢献

もともと高砂熱学工業がBIM推進を始めたのは、少子高齢化による労働力不足や、残業規制による労働時間減少への対応だった。現在はそれに加え、データの蓄積、利活用という目標がある。

「これまで何万棟もの工事をしてきましたが、特に古い物件では、工事データが残っていることが少なく、あったとしても紙の2次元データで、属人性が強く詳細には分からないケースがほとんどです。それがK-D2 PLANNER®を使うことで、データとして蓄積でき、将来的にデータベース化できます。そうなれば過去の施工計画を、今後の計画の参考にすることもできるでしょう」（齋藤さん）

ただ、画面上ではいろいろなことが可能であるものの、現場ではまだ書類などのリアルな形にアウトプットしなくてはならないことも多い。そのため、BIM推進室ではこの部分の変革を視野に、具体策の検討を進

めている。「揚重検討の可否がワンクリックで判断できることは現場から高く評価されています。しかしデータ蓄積のためには利用件数を増やさなくてはなりません。そのためには、揚重検討の可否だけでなく、例えば揚重作業の手順書も、2Dにせず、K-D2 PLANNER®の中で作成できるようにすることが望ましいと思います。こうしたこともコベルコ建機に相談しつつ進めています」（田上さん）

今後、設備工事でのK-D2 PLANNER®の利用が拡大する可能性は大きく、高砂熱学工業はその先頭を走っているといえよう。ゼネコンとは異なる、設備工事ならではの課題も見えてくるかもしれない。「そうした情報を共有し、K-D2 PLANNER®を改善、発展させていってほしいですね」と齋藤さんは期待を寄せる。

実感する導入効果

- 多数の揚重計画案を迅速検証、施工計画の手戻り防止、工期短縮や施工コスト削減に貢献
- 3Dモデル上での多角的な高精度検証で揚重計画とクレーンクラスの最適化を実現
- 工事データの蓄積による、データ活用の可能性
- 労働力減少、労働時間短縮に沿った働きやすい環境の実現



左から齋藤さん、田上さん。「新しい業務スタイルを定着させるには、手順と効果を提示することが大切。それをコベルコ建機とともに進めていきたいですね」（齋藤さん）

光建興業にとって4つ折れ超ロングアタッチメント仕様機(SK1300DLC-10)を用いての初の現場。超大型解体機ならではのパワーが十分に発揮され、工期短縮につながっている



経営のヒント

設備投資編

東京都足立区
光建興業株式会社

重機導入をモチベーションに 企業としてさらに前進

代表取締役社長の上田耕平さんは、解体企業に5年ほど勤務して経験を積み、2008年に「光建設工業」として独立した。「バール一本でのスタート。内装解体から始めました」と上田さん。その後、仕事を通じて知り合った伊藤輝さん（現・光建興業 専務取締役）と意気投合、2013年に法人化して光建興業株式会社を設立した。

解体機の導入をバネに 企業力を高め、事業を拡大

2013年に設立された光建興業株式会社は、新進気鋭の解体企業の1つとして躍進。今では年商20億円を超える規模へと成長を遂げた。その力の1つが約40台にも及ぶコベルコ建機の解体機だ。2024年には超大型建物解体専用機SK1300DLC-10を導入、同社の確かな技術と、積極果敢な企業姿勢を象徴する存在となっている。

織田孝一＝取材・文 三浦泰章＝撮影
text by Koichi Oda / photographs by Yasuaki Miura

東京・足立区には解体業者が多く、同業他社との競争も激しいなかで、光建興業は急成長を遂げている。初年度で年商1億円を超えたが、上田さんにはそこで満足する気持ちはなかった。「案件が増え、人を増やすとさらに多くの案件獲得につながり、また人を増やす。そういう好循環で事業を拡大してきました」

自社機をもとうと決断したのは法人化して4年目（17年）のこと。事業は内装解体から発展して、家屋・躯体解体

も手がけるようになっていた。リースで重機を利用することはあったが、上田さんは協力会社の方々と力を合わせながらも、増加する家屋・躯体の解体にもできる限り自社で対応したかったからだと言う。「重機が必要な具体的な案件があったのではなく、機械を買えば、それを使う仕事を取ろうとしてより積極的な経営姿勢になるだろうという意識がありました」（上田さん）

リースで使っていたのは他メーカーの重機が多かったが、紹介された代理店

“最近ではどんな重機を導入したかが解体企業の評判につながることもあります”

代表取締役社長 上田耕平さん



の熱心さに惹かれてコベルコ建機のSK135SRD（セパレートブーム仕様機）を購入。以降その数は増え続け、現在では約40台に及ぶほどの台数を保有している。

超大型建物解体専用機で 作業効率を大幅に向上

これまでの工事のなかで特に印象的な現場として挙げられたのが、地元にあった大型スーパーの店舗解体だ。こうした大型施設の解体は、大手ゼネコ



解体作業に用いる数種類のアタッチメント。状況に合わせて選択することで作業効率を高めている

ンなどの下請けとなって実施することが通常だったが、「解体は地元企業に任せたい」という施主の意向を受け、光建興業が元請けとなって工事を手がけた。「生まれ育った地元の象徴的な建物の解体に携わることへの誇りもあり、これまで当社が積み上げたスキルや経験の集大成のような仕事になりました」（上田さん）

同社ではコベルコ建機の長所として、操作性、視認性、燃費、静音性などを高く評価する。前述の大型スー

パーの解体でも、その性能は十分に発揮され、特に静音性は圧倒的だったという。「現場から150mほど離れた駐車場で車を降りると、他メーカーの重機の作業音しか聞こえないくらいコベルコ建機の重機は静かでした」（上田さん）解体対象の大型化に伴い、直近では超大型建物解体専用機SK1300DLC-10を導入。130t級の能力を誇るだけに、一台で標準的な解体機数台の役割を果たし、オペレータの負担も軽減されるのが大きなメリットだ。

専務取締役であるとともに、オペレータも務める伊藤さんは、同機の視認性の良さを高く評価する。「キャブの外部にフロントガラスを保護するガードがありますが、その形状もオペレータの視界を邪魔しないように設計されているため、作業するポイントを見定めやすいと思います。またロングアームでも自分の手の延長のように、思い通りのところに伸ばしたり、止めたりでき、細かい作業がしやすいことも大きな魅力です」と語る。

超大型機だけに、組み立てなどに時間が掛かるのではという懸念もあったが、思ったより短時間で、スムーズに組み立てることができたそう。

同社の解体機への期待は大きい。国土強靱化計画を反映して日本では今、高強度の建物が増えている。「今



◎今回の訪問先は

光建興業株式会社

所在地／東京都足立区堀之内1-2-11

☎03-6807-1377

<http://www.kouken-group.co.jp/>



専務取締役であり、現役のオペレータでもある伊藤輝さん。オペレータ歴は17年に及ぶ。数多くのコベルコ建機製の重機に乗り、その優れた性能を経験してきた。「SK1300DLC-10に乗ることは、いち早く経験を積み、機械の良さを生かした仕事の遂行につながるため、オペレータとしても意義が大きいと思います」

後、解体作業の難易度は上がり、より高度な解体技術が求められるようになると思います」と伊藤さんは予測する。上田さんも設備の重要性が増していることをさらに強く感じている。

そのなかでコベルコ建機の果たす役割は大きい。機能はもちろんのこと、コベルコ建機の機械と人が、整然と規律正しく作業している姿が多くの人々に知られることこそが、光建興業のブランド力向上や社員の意欲にもつながる、と上田さんは考えている。

SK1300DLC-10を中心に、コベルコ建機製の解体機を駆使して作業が進む





経営のヒント

課題対応力編

三重県桑名市
【有限会社オオブ工業】

課題解決のために 新工法を導入して事業を拡大

有限会社オオブ工業は1972年、愛知県大府市で、現会長の岩永直幸さんが創業した。クローラークレーンを用いた鋼矢板の打ち抜き工事などから始めたが、1979年には北海道の杭打ち会社から工法を学び、圧入工事を手がけるようになる。当時、北海道は冬場に仕事が減少するため、冬でも仕事の多い本州にこの会社を迎え、業務への協

適材適所のクレーン活用で 杭打ち工事の可能性を追求

杭打ちを中心とした基礎工事を専門とする有限会社オオブ工業。需要に応じて新しい工法を採り入れるたびに、設備・機械を拡充して成長してきた。それを支えてきたのがコベルコ建機のクレーンだ。最適な工法や工事条件に合わせてクレーンを活用し、基礎工事のレベルアップ、効率化につなげている。

織田孝一＝取材・文 三浦泰章＝撮影
text by Koichi Oda / photographs by Yasuaki Miura

力を頼んでいたことが縁になったという。その後もオオブ工業は、次々に新しい工法を導入しては事業を拡大してきた。「バイプロ工法による振動や音で周辺住民から苦情が出れば、それを機に圧入工法を手がける。その工事過程で硬質岩盤にぶつくと、パイラー工法（硬質岩盤クリア工法）を導入。それでも困難な部分が出てくると全回転チュービング装置を用いるというように、需要に応じて課題を解決すべく工法を増や

し、それを実現するための設備、機械を揃えてきました」と代表取締役の岩永洋平さんは語る。そうすることで、杭打ち基礎に関することならなんでも完遂できる企業を目指してきたという。同社とコベルコ建機、販売代理店である株式会社ヨネイとのつながりは歴史があり、早くからコベルコ建機製クレーンを所有していた。「私自身がコベルコ建機のクレーンに触れたのは18歳のとき。父に言われてコベルコ教習所（明石教習センター）で、玉掛け、



TK550GSBはもともと、PSP工法での新型杭打ち機の相番機としての活用を目的に購入された。狭い地や高さに制限のある低空頭での作業に威力を発揮している

“社員とは会社のビジョンを共有し「できない理由を探すのではなく、できる方法を考えよ」と伝えています。時代の変化に対応するための理念です”

代表取締役
岩永洋平さん



●今回の訪問先は

有限会社オオブ工業

所在地／三重県桑名市長島町東殿名1056
☎0594-42-3811
<https://oobu.co.jp/>

クレーン、大型特殊の資格を取得したときです」と岩永さん。

当時、同社にはP&H製の315をはじめ、コベルコ建機歴代クローラク



社名の「オオブ工業」は、創業の地である愛知県大府市にちなんでいる。大府市で成功した20年後、現会長の岩永直幸さんは故郷の三重県桑名市長島町に本社を移転。このほか、支店を千葉県柏市に、営業所を東京都千代田区にもつ

レーンの7035や7045、ラフテレーンクレーンのRK250があったのを覚えていると振り返る。

2011年に社長業を引き継ぎ、それまで現場業務一辺倒で経営管理や財務に関しては“ほとんど素人”という状態から、試行錯誤しながら事業を進めてきたという。同社は現在、社員数62名、グループ企業4社合わせて100名以上の規模となった。

現場とともに開発する姿勢 TK550GSBの活躍にも期待

オオブ工業は現在、BM1000G、BM800G、TK750Gなど十数台のコベルコ建機製クレーンを所有する。しかし新しい工法や技術への意欲は今も変わらない。同社ではPSP工法（鋼管

回転圧入方式）のため、バックホウをベースに回転圧入機と組み合わせた自走式掘削機を独自に製作し、利用していた。この自作機に日本車輛製造株式会社が注目したことから、両社で共同開発を行った新型機が誕生した。「共同開発機を構想した当時、ショートブームで狭所作業性に優れるTK550GSBは相番機としてピッタリだと思い、2021年に導入しました。ただ、共同開発機の完成は2年以上先になると判明。結局、日本車輛製造の全回転チュービング装置RT-120SLも新たに購入することになりました」と岩永さんは笑う。

これまで、コベルコ建機製クレーンが活躍した現場で特に印象に残っている仕事の1つが妙正寺川（東京都中野区）の災害復興整備工事だという。その現場は、鋼矢板や鋼管杭を打ち込んで進んでいく工事で、入口が狭く狭い地であるため、より細かな操作性が求められたが、しっかりと応えてくれる機械の性能を実感できたと語る。この仕事で岩永さんは優秀技能者（2009年第17回建設ステーション技能者）として東京都から表彰を受けている。

多くのクレーンを扱ってきた経験から岩永さんは、熟練したオペレータの感覚を正確に反映するコベルコ建機製クレーンの性能を高く評価する。「しかも、mm単位の微妙な調整を要求してもコベルコ建機は改善への努力を惜しみません。こうしたユーザとともに開発する姿勢がコベルコ建機の強みだと

思います。今後はクレーンのICT化にも期待しています。心ときめく進化を遂げてほしいですね」

また経営者の視点からは、コベルコ建機製クレーンが非常に堅牢な機械であり、資産価値が減じない魅力を語る。「長期間使用して、中古として払い下げてあまり価格が下がりにません。つまり、自分が気に入った機械を購入し、それを使って顧客に貢献する仕事ができ、さらに資産としても活用可能という3つの長所があります。オーナー企業の発想かもしれませんが、非常におトクな機械だと感じています」

杭打ち基礎工事では、杭打ち機が主役でクレーンは脇役だ。しかし主役の性能や有効性は変化するし、逆に主役が進化すれば、新たな脇役が求められる局面も出てくる。オオブ工業はそうした組み合わせの可能性を追求しながら、事業拡大を目指している。

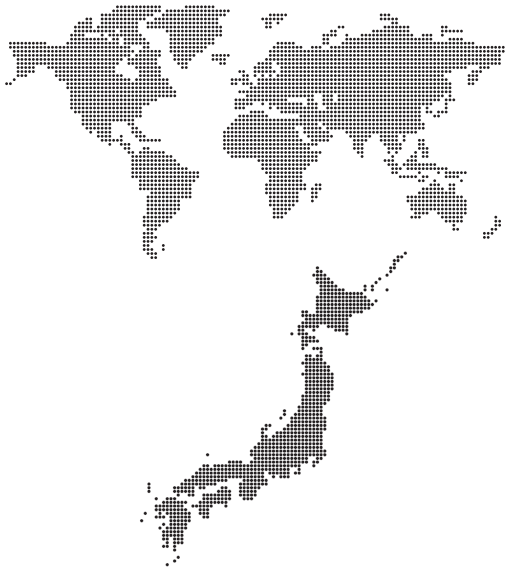
同社は75tクラスのTK750GFSも保有。樋門の耐震補強のため、堤防の障害撤去作業で、全回転チュービング装置の相番機として活躍





【コベルコの風】

日本全国、そして世界各国での
コベルコの活動をレポート！



Wind 2 from
千葉
Chiba

「第7回 国際 建設・測量展 (CSPI-EXPO2025)」に出展しました

2025年6月18～21日、「第7回 国際
建設・測量展 (CSPI-EXPO2025)」が千
葉県の幕張メッセで開催されました。

建設・測量分野における最新技術や
製品、サービスが一堂に会する国内最
大級の展示会で、昨年までの3日間開
催から今年は4日間に拡大されました。
また初めて、最終日の21日を一般開
放日とし、学生やそのご家族を対象と
した体験型イベントも実施されまし
た。

当社の屋内ブースでは、「K-DIVE®」
による遠隔操作・自動運転のデモン
ス

トレーションに加え、「K-AIR REAL」
「K-D2 PLANNER®」をご紹介。ブー
ス内の展示内容を紹介する「ブースリ
ポート」も行われ、来場者に理解を深
めていただく機会となりました。なか
でも注目を集めた「K-DIVE®」の試乗
体験では、神戸と高松（3拠点）に設
置された重機を遠隔操作するデモン
スレーションを実施。1つのコックピ
ットから3台の重機を稼働させる様子に、
多くの来場者が驚きの声を上げていま
した。また、屋外ブースでの水素燃料
電池ショベルの展示や、特別セミナー

の講演、グッズ販売などを行い、コベ
ルコ建機のさまざまな魅力を発信す
ることができました。

当社ブースに数多くの方にお越しい
ただき、製品やサービス、取り組みを
広く知っていただく貴重な機会となり
ました。



多くの人でにぎわう「K-DIVE®」
のデモンストレーション



バーチャル
展示会は
こちら

Wind 1 from
コベルコ建機
Kobelco

超大型建物解体専用機「SK1300DLC-11」販売開始

2025年6月、130t級超大型建物解
体専用機の新モデルとなる「SK1300
DLC-11」の販売を開始しました。

前モデルである「SK1300DLC-10」
で高評価を得た、ベースマシン性能の
高さや多仕様かつ他仕様間で共用で
きるアタッチメント設計、搬送規制へ
の対応を考慮に入れた分解・組立性
といった特長はそのままに、快適性と
操作性の向上を図りました。

「SK75SR-7」「SK135SR-7」で好評
のPerformance×Designのコンセ
プトを採り入れたインテリアを採用。
エアサスペンションシートとともにヘル
メット着用に対応したバックレスト
を備え、レバー配置の見直しも行い、
オペレータの疲労軽減に貢献します。
また、排ガス規制に対応した新エンジ
ンにより、トルクが向上しました。プ
レエアクリーナの標準装備によりメン
テナンス性もアップ。機械周囲の状況
を確認できるイーグルアイビューを標

準搭載し、安全機能も充実しています。

豊富なアタッチメントバリエーショ
ンと高い分解・組立性と搬送性を誇
り、さらに機能が強化された新モデル
「SK1300DLC-11」をぜひチェックし
てみてください。

■販売概要

機種名：SK1300DLC
本体型式：SK1300DLC-11
発売日：2025年6月19日（木）



製品情報は
こちらから



Wind 3 from
コベルコ教習所
Kobelco

コベルコ教習所にグループ初となる女性社長が誕生

コベルコ建機グループのコベルコ教
習所株式会社において、2025年6月
27日に開催された第20回定時株主総
会での承認および同株主総会後の取締
役会決議を経て、澤 乃里子が代表取
締役社長に就任しました。

澤は入社以来、教習所の新拠点立ち
上げや基幹システムの導入、経営理念
の浸透といった数々のプロジェクトを
手がけ、このたび当社グループ初の女
性社長となりました。

コベルコ建機グループ全体として、
性別や年齢、国籍などにとらわれず、
多様な人材が全員活躍できる職場環
境の実現を目指しています。社員それ
ぞれが強みを発揮できる環境を提供す
ることは、組織の創造力を高め、社会課
題の解決に挑み続ける力の源泉にな
ると考えています。

今後もダイバーシティ&インクルー
ジョンを積極的に推進し、豊かな社会の
建設に貢献していきます。



澤 乃里子（さわのりこ）

主な略歴：
2005年 4月コベルコ教習所株式会社入社
2022年 4月業務部 業務部長
2023年 6月取締役
2025年 6月代表取締役社長

Wind 4 from
コベルコ教習所
Kobelco

コベルコ教習所設立20周年記念式典を開催しました

2025年4月25日、コベルコ教習所設
立20周年の記念式典を開催しました。

当日はコベルコ建機 山本 明社長を
はじめ全国各地のセンターからコベ
ルコ教習所のスタッフも参加し、総勢
165名が一堂に会しました。式典は二
部構成で行われ、第一部では教習所内
でのビジネスインテリジェンス活動報
告や事業展望の共有などを実施。第二

部では、20周年を祝う鏡開きやゲー
ム大会などが行われ、社員同士の活発
なコミュニケーションでにぎわう盛況
な会となりました。

これからも外部環境の変化に敏感
に、そして真摯に行動し、社会から信
頼・評価される教習所であり続け、お
客様のニーズにしっかりと応えして
いきます。



20周年を祝う鏡開き



20周年特設サイトはこちら

Wind 5 from
コベルコ建機
Kobelco

子育てサポート企業として「プラチナくるみん」認定を取得

コベルコ建機は、厚生労働省より「プ
ラチナくるみん」の認定を2025年3月
24日付で取得しました。

「プラチナくるみん」は、次世代育成
支援対策推進法にもとづき、従業員
の子育てをサポートしている企業とし
て「くるみん」認定を受けた企業のうち、

より高い水準の取り組みを行い、一定
の基準を満たした場合に、優良な「子
育てサポート企業」として厚生労働大
臣が認定する制度です。

当社は、多様な人材がいきいきと活
躍し続けられるよう職場環境の改善を
鋭意進めており、その一環として、仕

事と育児の両立支援
策の拡充に取り組ん
でいます。

今回はそれらの取り組みと、その結
果である男性の育児休業（育児目的休暇
制度を含む）取得率の高さなどの実績が評
価され、認定につながりました。



Wind 6 from
コベルコ建機
Kobelco

施工中の現場で自動運転ショベルの運用を検証

コベルコ建機と株式会社安藤・間（以下、安藤ハザマ）は、自動運転ショベルの実用化を見据えて、施工中の現場における長期間の安定運用と安全性の確保について検証しました。

安藤ハザマとコベルコ建機は、2019年4月に共同研究に関する協定を締結しており、工事現場での油圧ショベルの自動運転実現に向けてシステム開発と段階的な実証実験を重ねてきました。

今回は、安藤ハザマが施工中の「R5霞ヶ浦導水石岡トンネル（第3工区）新設工事」において、長期間の安定運用と安全性の確保について検証しました。

本検証においては、遠隔操作との組み合わせによる運用



遠隔操作との組み合わせによる運用

油圧ショベルの自動運転を行い、有人ダンプへの掘削土砂積込作業を繰り返し実施。実工事において約2カ月間（25年4～6月）にわたる長期運用を実現しました。また、安全面については、国土交通省の「自動施工における安全ルールVer.1.0」に沿ってリスクアセスメントを実施し、無人エリアや中継エリア、立ち入り禁止エリアなどを設定しました。無人エリアでは、「K-DIVE®」によ

る遠隔操作と自動運転を組み合わせる無人作業を実現させました。

今回の検証により、現場における自動運転ショベルの本格展開、実用化が可能と判断しています。安藤ハザマとコベルコ建機は、これらの共同研究の成果をもとに、今後、自動運転ショベルの適用工種の拡大と現場展開に向けた取り組みをより一層加速させていきます。



自動運転によるダンプ積込みの様子

Wind 9 from
インド
India

インド現地法人KCEIが20,000台生産記念式典を開催

2025年3月21日、Kobelco Construction Equipment India Pvt. Ltd.（以下、KCEI）はインド南部に位置するスリシティの工場で「20,000台生産記念式典」を開催しました。

式典には、20,000台目の購入者の方やディーラ、サプライヤおよびKCEI従

業員が出席。生産の歴史や、歴代の駐在員や工場長からのビデオメッセージなど、工場立ち上げから今に至るまでを参加者全員で振り返りました。

KCEI は今後も品質向上に努め、お客様によりご満足いただける機械を供給し、次の節目である30,000 台の早

期達成に取り組むことを表明しました。式典終了後には、ディーラやサプライヤとの会食を行い、結束を深めるとともにインドにおけるコベルコブランドの拡大を目指すことを再確認し、KCEI にとって記念すべき一日となりました。



式典では生産20,000台目の実機をお披露目



生産20,000台記念の垂れ幕

Wind 10 from
コベルコ建機
Kobelco

「ICT建設機械等認定制度 省人化建設機械」認定を取得

コベルコ建機が販売する油圧ショベルのチルトロータータ仕様機が、国土交通省による「ICT建設機械等認定制度」に新たに追加された区分「省人化建設機械」の認定を取得しました。

i-Construction2.0では、2040年度までに少なくとも建設現場の省人化3割を目標としています。「ICT建設機械等認定制度」はその取り組みに資する建設機械の普及促進を目的に国土交通省が認定する制度です。「省人化建設機械」は、従来機械による施工に比べて人工削減効果3割以上という基準を満たしたバックホウなどが認定されます。

また、国土交通省より今年度の直轄工事において認定機種を活用した試行

工事を行うとの発表がされています。今回は3.5～23tクラス油圧ショベルの認定を取得しています。

※当社機械の最新登録状況については、国土交通省のWebサイトにてご確認ください。

※コベルコ建機のチルトロータータ仕様機はNETIS登録済みの製品です。NETIS登録番号：KT-190045-VE
※「ICT建設機械等認定制度」（「省人化建設機械」の認定を含む）は、中小企業庁の「中小企業省力化投資補助金」とは異なる制度です。ご注意ください。



Wind 7 from
千葉
Chiba

秋の展示会開催のお知らせ

毎年秋の恒例イベント「コベルコ建機日本 秋の大展示会2025」を、コベルコ建機日本株式会社にて今年も開催予定です。遠隔操作システム「K-DIVE®」をはじめ、クレーンや大型解体機なども展示予定。子ども向けのイベントも企画中なので、ぜひ皆様お越しください！

コベルコ建機日本 秋の大展示会2025

日程：2025年11月22日（土）・23日（日）

開催場所：コベルコ建機日本株式会社 千葉県市川市二俣新町17

【ご来場について】本展示会は事前登録制です。詳しくは最寄りの営業所までお問い合わせください。



2024年開催の展示会の様子

Wind 8 from
コベルコ建機
Kobelco

安全衛生に関する 厚生労働大臣表彰を受賞

コベルコ建機 技術開発本部に所属する黒津 仁史（くろつひとし）が、令和7年度「安全衛生に係る優良事業場、団体又は功労者に対する厚生労働大臣表彰」の「功績賞」を受賞しました。

黒津は、10年以上にわたり一般社団法人日本クレーン協会の委員や本部理事などを務め、国際規格の策定および国内普及を通じ、産業安全の推進などに寄与してきました。培った経験を生かし、クレーンなどの安全向上・発展に貢献していることなどが評価され、このたびの受賞となりました。

当社は、建設現場の基本となる安全性の確保や向上に資する建設機械・サービスの提供だけでなく、災害防止のための取り組みや、啓発活動を積極的に支援していきます。

読者の広場

Fun! Fan! コベルコニュース

コベルコニュースへのご意見や、身のまわりで起こったあんなこと、こんなこと。さらに自慢のイラストやすてきな写真など、読者の皆様からのご投稿をご紹介します！

ちょっとしたことで楽しめました！

神戸製鋼ラグビー部のファンになったことがきっかけでコベルコ建機ファンに。春季号の東邦重機開発の高村社長の背景に写っていたラグビーボール（しかもダン・カーターのサイン入り！）を見つけてちょっとうれしくなりました。
北海道・網走市役所
原田直樹さん



京都府
楠田日菜乃さん



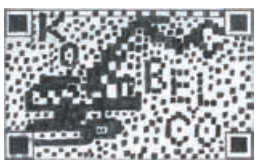
石川県・(株)豊商
中川敬一さん



宮崎県・稲尾リース(株)
飯千亜紀穂さん

歴史的建造物のシリーズはすてき

「歴史的建造物 誕生の秘密を探る！」シリーズは、その建物からドラマが感じられて本当にすてきです。写真もすごく良いです。木造系、鉄骨系、コンクリート系などに分けてもおもしろそうですね。
富山県 匿名希望



熊本県・(株)活誠
喜讀宣友さん

楽しいイラスト、すてきな写真大募集！

読者の広場は皆様からの投稿で構成しています。本誌への感想や、身近で起こったできごとなど、お気軽にお寄せください。また、同時にイラストやお写真も募集しています。採用された方には、すてきなプレゼントを進呈いたします。ぜひご投稿ください。メールでのご投稿もお待ちしております。

※いただいたご意見・ご感想は、誌面掲載の都合により、文章を損なわない範囲で編集させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください

※メールには、会社名、所在地、電話番号、氏名、匿名希望の方はその旨を必ずご記入ください

※ご投稿いただいた内容は、本誌以外にHP、SNSなどに掲載させていただく場合があります。予めご了承ください

✉ Kobelconews-shm@kobelco.com

公式アカウントで
投稿が紹介されるかも

#コベルコのある風景

#コベルコ建機

#コベルコ

Instagram

投稿募集中



公式アカウント▶



兵庫県・(有)大成組
竹内優菜さん

産学連携の意義に共感

かつて父が油圧ショベルの販売に携わっていたこともあり、産学連携の意義には大変共感いたしました。
大分県 安道里巳さん

PRESENT

[プレゼント]

クロスワードパズル正解者のなかから抽選で次の賞品を進呈いたします。ふるってご応募ください。

※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます

A賞

ショベルぬいぐるみ

なかなか見かけることがない、フワフワと手触りも良いショベルのぬいぐるみです。おもちゃとしてはもちろんですが、KOBELCOのロゴもしっかり入っており、お部屋に飾っても楽しめます。

5
名様

B賞

NECK RELAX 1S ホワイト

温熱とEMSパルスで首、肩下をケア。モード選択により、リズムや感触が変わります。6枚のパッドが6カ所の接触点となり、幅広く肩や首の違和感のものとなるトリガーポイントを攻め込みます。場所選ばず、「ながらケア」が可能。

1
名様

C賞

SMART FIT PuniLabo
スタンドペンケース - パンダ

机にグッと押し付けるとペンスタンドになる「立つ」ペンケースです。かわいいパンダの見た目ですが、ペンを約15本収納できる大きめの容量もポイント。消しゴムはフタの裏側に収納できます。

5
名様

CROSSWORD PUZZLE

[クロスワードパズル]

タテ・ヨコのカギをヒントにマス目を埋めてください。

二重マス目の文字を並べ替えてできた言葉を

専用はがきの解答欄（または、はがき）にご記入ください。

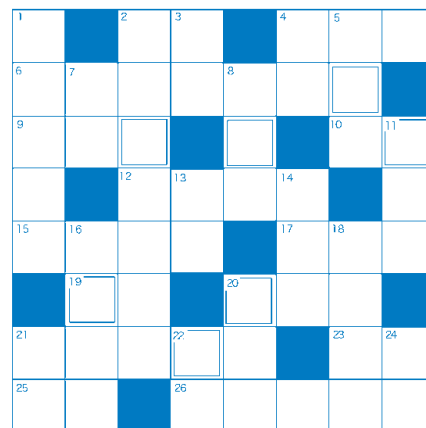
- ご応募の締め切り: 2025年9月19日(金) (消印有効)
- あて先: 〒141-8626 東京都品川区北品川5-5-15 大崎ブライトコア5F
コベルコ建機(株)コベルコ建設機械ニュース編集室

【Web応募フォーム】
PC・スマートフォンからも
お気軽にご応募いただけます！

<https://www.kobelco-kenki.co.jp/inquiry/knews/index.php>



※ご記入いただいた個人情報
は、当選者へのプレゼ
ントの発送と読者の広場
ページへの掲載以外の目
的では使用いたしません



ヒント: 夏の夜空を彩る祭典

答え:

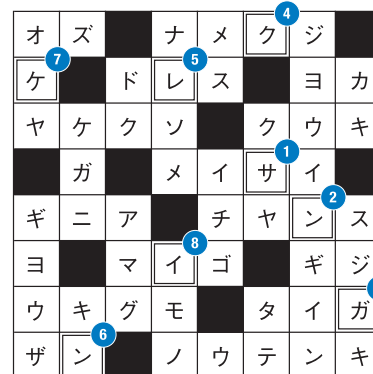
タテのカギ

- これをたくさん知っていると言語の理解が深まる
- お盆や年末年始に多くの人々がふるさとへ向かう現象
- 「〇〇数」「〇〇率」「〇〇返し」
- 「〇〇冠」「〇〇座」「百獣の〇〇」
- 男性のスーツの上着。
本来はチョッキとズボンを含む三つ揃いからなる
日本刀を握る手を守るための金具
- 発芽して最初に出る葉
- 葉っぱで包むタバコ
- クモが出すもの
- 光の明るさを表す単位。「lx」と表記
- 落語などを披露する人
- カモメ科の鳥の一種。鳴き声は「ミャーミャー」
- 千の位、百万の位を区切る
- 米や酒を量る単位
- 墓標や記念碑、囲碁のコマにも使われる天然素材
- 特定の領域の物事に詳しい人のこと

ヨコのカギ

- 獣が敵に見せて威嚇するもの、たとえば
- 盤上で白黒をひっくり返して競うゲーム
- 一時代を席巻し、話題を独占
- 利益は少なくとも、たくさん売って儲ける「薄利〇〇〇」
- 「無料」を表す言葉
- 勝ち負けを争い、互いに切磋琢磨する存在
- 武士や町人にとってのタブー。やってはいけないこと
- その場の雰囲気から状況を推察「〇〇〇を読む」
- 「秋麗」「王秋」「新高」「幸水」といえばなんの種類?
- 空気中の水蒸気などで視界がぼやける現象
- 神社仏閣参拝の証としてもらえる
- 体温計で測るもの
- 蝶やセミがさなぎから出てくること
- 交流や提携をしている別の学校

Vol.268 クロスワードパズル 正解発表



正解は「サンガクレンケイ」でした。
多数のご応募ありがとうございました。

Wチャンスのお知らせ

Vol.267～269に寄せいただいたすべてのはがきを再抽選、50名様に記念品をプレゼントいたします。パズルへのご応募のほか、ご投稿、ご意見など、どうぞお気軽にお寄せください。

※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます

編集後記

いつもご愛読ありがとうございます。コベルコの風では、「CSPI-EXPO2025」の様子をご紹介しました！私は受付担当として参加させていただいたのですが、お客様がなにに興味があるのか、弊社のブースは他社と比べてどうかなど、私自身多くの学びがありました！また、今年は初の一般公開日もあり、学生さんや家族連れの方もお越しいただけてとてもうれしかったです！来年はさらに盛り上げていけるよう頑張ります！暑さが厳しくなる季節、冷たい飲み物を片手に、ひとときのリラックスタイムとしてお楽しみいただけたら幸いです。どうかご自愛の上、健やかな夏をお過ごしください！(H.F)

コベルコ建設機械ニュース 夏季号 2025年8月 Vol.269

発行：コベルコ建設機械ニュース編集室
企画・編集：日経BP / 日経BPコンサルティング / リミックス